



週報

2017~2018年度 RI会長 イアン H. S ライズリー
RIのテーマ 『変化をもたらす』
地区のテーマ 『RI 戦略計画を皆で一緒に実行しよう!!』 ガバナー 細井保雄

国際ロータリー
第2570地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕 狭山東武サロン〒350-1305 狭山市入間川 3-6-14 TEL 04-2954-2511
〔事務所〕 〒350-1305 狭山市入間川 1-24-48 TEL 04-2952-2277 FAX 04-2952-2366
<http://www.schuohrc.org> E-mail: schuohrc@p1.s-cat.ne.jp
会長 益子伸明 会長エレクト 清水幸彦 副会長 松浦法子 幹事 浜野貴子

第3グループ内の例会日] 新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(火)、所沢西(火)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第1168回(2月13日) 例会の記録

点鐘 益子伸明会長
合唱 四つのテスト
第2副SAA 若松会員 吉松会員

※出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
30名	28名	92.59 %	96.29 %

会長の時間

益子伸明会長

バリー・ラシン氏(パハマ、イーストナッ
ー・RC所属)2018年01月14日

国際ローターの次年度会長バ
リー・ラシン氏(パハマ、イーストナッ
ー・RC所属)がローターの未来のビジョンについて語り、会員
や地域の人びとへのインスピレーションとなって、次世代の
ために持続可能な活動を行うよう次期リーダーに呼びか
けました。

ラシン会長エレクトは、米国サンディエゴで
開催されたローター国際協議会で、
次期地区ガバナーに向けて2018-19
年度テーマ「インスピレーションになろう」を発表。

「何か大きなことに挑戦しようというインスピレーションをク
ラブやほかのロータリアンに与えてください。自分よりも長く
後世にも生き続けるものを生み出すために、行動を起
こす意欲を引き出していきたいのです」

ローターの新しいビジョン声明は次のように謳っています。
「私たちロータリアンは世界で、地域社会で、そして
自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために
人びとが手を取り合って行動する世界を目指していま
す」。ラシン氏はこのビジョン声明の意義を強調し、声明
がめざすローターを実現するためにリーダーシップを発揮
するよう求めました。

ビジョンの実現にはまず組織づくりが必要だとラシン氏は



強調します。「ローターは第一に会員制組織です。で
すから奉仕活動を通じてより良い世界を築きたいと願
うなら、まずは会員を大切にしなければなりません」
「変化を生み出そうという意欲を、クラブ会長と地区内ロ
ーターの心に芽生えさせていただきたいのです。もっ
と何かをしよう、可能性を最大限に発揮しようというや
る気を引き出し、それぞれのやり方で前進できるよう
手助けすることが皆さんの仕事です」

ポリオ撲滅の進展

ロータリアンにとってインスピレーションの源の一つはポリオ撲
滅活動である、とラシン氏は述べ、過去30年間に成し
遂げた顕著な進展に触れました。1988年には野生型
ポリオウイルスによって推定35万人が身体まひを患っ
ていましたが、2017年に報告されたポリオ症例数はわず
か21件。「今がポリオ撲滅活動の正念場」と語り、「新
規症例があるたびに、それが史上最後の症例となる
可能性がある」と述べました。

ただし、最後の症例が報告されても仕事が済んだわ
けではないとラシン氏は強調します。「撲滅認定委員
会がポリオ撲滅を正式に認定するまで、すなわち3年
間、川や下水、または人の体内からポリオウイルスが一切
発見されなくなるまでポリオ撲滅活動は終わらないの
です。……それまでは今行っているすべてのことを続
けていかなければなりません」。こう述べたラシン氏は、
予防接種活動やサーベイランス(監視)に引き続き力を入
れていくことの重要性を訴えました。

環境の持続可能性を守る

さらにラシン氏は近年、ローターが人道的活動における
「持続可能性」を重視していることに触れ、環境汚染
や気候変動という厳しい現実をロータリアンが認識すべ
きであると述べました。祖国パハマの土地の80%が海抜
1m以下であることも指摘。2100年までに海面が2m
上昇すると推定されており、「私の祖国は他の多くのカ
リブ海諸島や世界中の沿岸都市や海抜の低い地域と
同様50年後にはなくなってしまう」と懸念します。
ローターのすべての奉仕活動を、より大きなグローバルな

システムの一部としてとらえるよう、ラシン氏は呼びかけました。これは次期地区ガバナーがクラブだけでなく、地域全体にとってのインスピレーションとなる必要性を意味すると述べます。「持続可能な活動成果をもたらし、世界をより良くしたいと私たちは願っています。ロータリー内部やロータリアンのためだけでなく、世界全体のあらゆる人々、あらゆる世代のために私たちにできることがあるのです」

幹事報告

浜野幹事

- ・『RI第 2570 地区高校生向け留学説明会』のご案内
- ・『2018 年次大会(トロント大会)参加旅行募集案内』
- ・受贈会報 所入間南RC 入間RC

「外来卓話」……

第 2570 地区 国際奉仕部門

国際支援委員会

副委員長 新島修一様

『なぜRCを好きになったか』

電気屋をやりながら深谷市の JC に入会した後、RC に入会して世界経済の中の日本を知るために海外に出ていこうと決めました。多少の会話は出来るつもりでいましたが、シンガポールの姉妹クラブにメイキップした際に言葉の壁にぶつかって針の筵に座っている体験をし、英会話を学び始めました。その後、海外との交流にはまってしまい、海外との姉妹クラブを回るために深谷RCから独立して深谷ノースRCを立ち上げました。3年で3カ国4クラブと姉妹提携を結び、震災の後には福島白川西RCとも提携して合計で5つのRCとお付き合いをしております。一海外の RC とお付き合いする中での、RCの国際奉仕の面白さをお話し頂きました。有難うございましたー



深谷ノースRC 関根敬夫様

一年半程前に首のヘルニアを患い、暫くロータリーを休んでおりましたが、こうして活動を再開し、他のクラブをお伺いして名刺交換をしたり、様々な楽しい会話を交わすのが生きがいとなっております。また、増強委員長をやっておりますので、狭山中央RCさんのように女性会員を増やして賑やかなクラブにしていきたいと思っております。



第 2570 地区 国際奉仕部門 国際支援委員会

委員長 田島博夫様 『タイ察報告』

2014年度より始まった支援金拠出国への視察も3回目になりました。ミャンマー共和国(2014年11月)を皮切りに、フィリピン(2015年11月)、タイ王国(2017年12月)と視てまいりました。

タイは東南アジアでは4番目に経済が発展し、2016年度では GDP も \$ 5,902/1人当たり(参考:日本 \$ 38,882)までとなっており、近隣のミャンマーと比較に

はなりません。教育水準もかなり上がってきてはいますが、衛生環境の面ではまだまだ遅れが否めません。今回は深谷NCの姉妹クラブである『タイ・シーロムRC』『タイ・シンプリRC』の二つのクラブを通じ、3か所の小学校の現状を案内して頂きました。

1. Wat Bod School

児童数 891人、教員 35 名、私立学校で教育環境はかなり良い。教室には液晶TVモニターが設置されている。

2. Wat Sawang Arom School

児童数 139人、教員14名、同じく私立学校であるが、衛生環境はあまり良くなかった。(我々が初めての外国人だったそうです。)

3. Udomarp School

児童数 117人、教員12名、経営者はロータリアン、郊外のコンパ外な私立学校で環境も良い方である。

以上、3カ所の小学校の飲料水ろ過装置の設置状況を視てまいりました。

ニコニコボックス

関根敬夫様(深谷N) 狭山中央RCの皆様、こんにちは。今日初めておじゃまします。宜しくお願い致します。

小澤久代様 ロータリーには大変お世話になりました。主人は療養に励んでおります。皆様にはくれぐれもよろしくとの事です。これからも中央RCの益々のご発展をお祈り申し上げます。

益子君 深谷NRC 新島様、本日の卓話宜しくお願致します。御同伴の関根様、ようこそいらっしゃいました。

浜野君 国際奉仕部門副委員長 新島修一様、深谷NRC関根敬夫様、ようこそいらっしゃいました。本日の卓話楽しみにしていました。宜しくお願い致します。

江原君 本日の卓話の時間は国際奉仕部門副委員長でいらっしゃる新島様のお話をいただけるという事です。楽しみにしておりました。宜しくお願い致します。

菊田君 前回、江原さんのニコニコ読み忘れしました。ごめんなさい。

松浦君 国際奉仕部門副委員長 新島修一様、本日の卓話宜しくお願い致します。

佐藤君 本日の外来卓話 国際奉仕部門副委員長 新島修一様、ようこそお出で下さいました。宜しくお願い致します。

田中君 市民相談員のため早退します。

会員誕生 石川君

結婚記念 宮岡君

沼崎君

